



2026年 内浦湾レガッタ（UR）帆走指示書

2026.1.18
多比ヨットクラブ

1. 適用規則

本レースは、「セーリング競技規則 2025-2028 (RRS)」および当帆走指示書を適用する。
「セーリング競技規則」と当帆走指示書に矛盾が生じた場合は、当帆走指示書を優先する。

2. 参加資格、レース開催日

- 有効な船検を有し、自己の安全と、他への損害補償に責任を負えるセールボートで、多比ヨットクラブ(以下 TYC と称する)の認めた艇。
- レース開催日は原則として 1、2、3、4、5、6、7、9、10、11 月の第 4 日曜日（10 回）。
前半戦を 1 月から 5 月、後半戦を 6 月から 11 月とし、5 月と 11 月にはレース後表彰パーティーを行う。

3. 出艇受付および艇長会議（その年の第 1 戰と初参加艇など特別指示ある場合以外は行わない）

出艇受付 09:00～09:10
艇長会議 09:10～09:30
場 所 TYC クラブハウス（沼津市多比 1-130）

4. コースおよび回航点

コースは以下の 3 種類とする。

- 採用するコースは多比白灯台のレースコミッティの掲げる数字旗で、スタート 5 分前から指示を出す。
 - コース 1：多比 — 足保マーク — 獅子浜マーク — 多比 （時計周り）
 - コース 2：多比 — 足保マーク — 多比 （反時計周り）
 - コース 3：多比 — 獅子浜マーク — 足保マーク — 多比 （反時計周り）

ただし獅子浜マークは獅子浜沖の浮防波堤十生簀群（生簀係留用のブイは生簀に含まれるものとする）
足保マークは足保沖の東西に並んだ一番東側のブイとする。
- マークが大幅に移動したり紛失した場合、コミッティは正規の位置になくても代替のマークを指定することが出来る。

5. クラス分け

2026 年度は 2 つのクラス分けを採用する。クラスへの移動は任意の申告制とする。
但しシリーズ内の移動は認めない。

A クラス レーシングクラス

B クラス ファミリークラス

レース旗の無い艇は貸し出しいたします。（重須ヨットハウス、古宇ヨットクラブにて）

6. 出艇申告

スタート時刻の 30 分前までにレース旗とメンスルのみあげて、多比白灯台付近にバージー（クラブ旗）を掲揚したコミッティへ、確認を取る。（文書で申告する必要はない）

7. スタート予告信号

スタート予告信号は B クラス 10:25
A クラス 10:55 とする。ただしスタートは時報によらず「7 条」による。

8. スタート信号とスタート方法

- スタート信号は、スタート 5 分前： コース旗（数字旗）を掲げ、音響 1 声
スタート 4 分前： P 旗（準備信号）を掲げ、音響 1 声
スタート 1 分前： P 旗 降下 音響 1 声
スタート コース旗：（数字旗）降下 音響 1 声

* 音声信号は補助信号であり、信号旗による合図を優先する。

- スタートおよびフィニッシュの見とおし線は、口野赤灯台と多比白灯台付近の、コミッティの掲げる TYC バージー（クラブ旗）とを結ぶ線とする。

- c. スタートラインは、赤灯台と白灯台付近の、コミッティの掲げるTYCバージー（クラブ旗）の間とする。
(注意) 赤灯台周辺はダイバーとの無用な摩擦を回避するため航行禁止とする。
白灯台付近の生簀の間は航行禁止とする。
 - ・ 荒天時は南側防波堤のくの字の位置とする。
 - ・ スタートラインは10分後に消滅する。
- d. 回答旗(AP旗)が掲げられている間はレースは延期中である。回答旗降下約1分後にコース旗を掲揚する。
以下、上記 a. 項と同様の手順でスタートを行う。
- e. 特別の事情でレースが中止される場合には、コミッティはスタート時刻までに、クラブハウス屋上にN旗を掲揚する。

9. リコール

- a. リコール艇があった場合にはX旗を掲げ、音響1声により警告する。リコール艇は自己の責任で再スタートを行うこと。
X旗は全てのリコール艇がリコールを解消した時点で降下する。ただし、これに拘わらずスタート10分後には降下する。
- b. ゼネラルリコールの場合は第1代表旗を掲げ、音響2声を発し、警告する。
再スタート手順は第1代表旗の降下と音響1声を発しその1分後にコース旗(数字旗)を掲げ音響1声を発する。以下前条の手順でスタートを行う。

10. エンジンの使用

レース参加艇はレース中に動力としてのエンジンの使用は認められない。(レース中とは4分前の準備信号からフィニッシュラインを横切るまで)

しかし落水者救助、避難艇(船舶)救助、他の船舶との衝突回避(緊急避難)、離礁その他緊急かつ切迫した事態に対処するためにエンジンを使用することができる。

但し、エンジンを使用した場合には、その状況(使用した目的・時間・場所等)について、フィニッシュ後レース委員会に速やかに報告しなければならない。

11. オートパイロットの使用

全てのレース艇は一般的なオートパイロット使用を可能とする。(潮流や風速で自動的に動作する物、AIを用いたものなどは許可しない)

12. タイムリミット

レース当日15:00とする。(16:00までに連絡のない艇については、当該艇のオーナー／スキッパーの連絡先に通知、協議の上、海上保安庁に捜索の要請を行うことがある。)

13. レース艇の義務

- a. 出艇申告より帰着申告まで、所定のレース旗をバックステイ(デッキ上1.5m以上の高さ)に掲揚する。
リタイアした場合は直ちに降ろすこと。
- b. 出艇申告し、スタートしない艇は直ちにコミッティに連絡すること。
- c. フィニッシュ後は、速やかにコミッティに帰着申告し確認を取ること。
- d. 異常艇は速やかにコミッティに連絡すること。連絡は必ず艇の責任者が行い、第三者に伝言を託してはならない。
- e. レース中に事故のあった艇は、速やかに文書で報告すること。

14. 抗議

抗議のある艇は、抗議旗(赤色旗)を掲げてフィニッシュし、かつフィニッシュ後その旨をコミッティに直ちに報告すること。

抗議は所定の抗議書に必要事項を記入し、抗議料3,000円を添えてフィニッシュ後1時間以内にコミッティに提出のこと。

抗議に対する審議と裁定は、本コミッティのみとして上告は認めない。プロテストルームはTYCとする。

15. 規則違反に対する罰則

- a. RRS31(マークとの接触)は1回転[°]カバー(同一方向に1回のタックと1回のジャイブを含む回転)を適用する。
- b. RRS第2章に関する規則違反は2回転[°]カバー(同一方向に2回のタックと2回のジャイブを含む回転)を適用する。
- c. RRS29.1(個別リコール)の規則違反した艇は、所要時間の5%のタイムペナルティーを適用する。
- d. 出艇申告・帰着申告・レース旗の掲揚・その他報告義務を怠った艇に5%のタイムペナルティーを適用する。
- e. レース規則に違反した艇は、失格または20%のタイムペナルティーを科すことがある。

16. レースコミッティ

- a. コミッティ： レース委員会が幹事として行い各艇に依頼する
- b. 所在 : レース当日09:45よりレース終了まで多比白灯台付近またはTYCクラブハウス。
- c. タイムリミット後(15:00～16:00)の連絡先：
TYC レース委員 吉川(ヨシカワ)：携帯 090-3937-8473

17. 順位決定

各艇の所要時間に TCC（時間修正係数）を乗じた修正時間により順位を決定する。同時間の場合は TCC の小なる艇を上位とする。各艇の TCC は TYC レース委員会が決定する。

18. レースにおける得点

得点は高得点方式を採用する。

基本的な計算ルールは以下の通り

- ・そのレースの「参加艇数 (N)」 + 3 - 「順位」

DNF (Did Not Finish) は 2 点

その他は 1 点とする。

5 月、11 月までの総得点と順位はパーティーで発表する。

19. レース参加費

年間 (10 レース) 15,000 円 半期 (5 レース) 8,000 円、1 ディエントリーは 3,000 円とする。

年間レースの参加費は、その年の最初の艇長会議の際に納入のこと。参加費は返還しない。

参加費はレース 5 日前（火曜日）までに振り込むこと。やむおえない場合には当日コミッティに納入すること。

振込先：スルガ銀行 本店 普通預金 1653489 多比ヨットクラブ

20. レース結果の表示

レース結果は、TYC クラブハウスおよびインターネットの TYC ホームページ <http://www.tabi-yc.com> に掲示する。

21. 緊急連絡先

清水海上保安部警備救難課 TEL 054-353-0118 TYC レース委員 吉川（ヨシカワ）：携帯 090-3937-8473

22. 注意事項

レース艇は漁船などレース艇以外の船の近くを通る時は、必ず 2 艇身以上離すこと。

23. 安全責任

本レースの安全責任は参加各艇自身にある。レース委員会は事故等の責任は一切負わない。